

京都銀行協会 業務だより

令和3年3月
(NO. 264)
一般社団法人 京都銀行協会
〒604-0924 京都市中京区木屋町通二条下ル
TEL 075-221-2134
FAX 075-221-2139

I. 理事会、部会関係

1. 理事会（3月15日）

〈議案〉

- (1) 令和3年度事業計画（案）の承認に関する件
- (2) 令和3年度予算（案）の承認に関する件

〈その他事項〉

- 令和3年度役員選任の見込み

2. 部会

(1) 庶務部会【銀将会】（3月17日）

- ・日本銀行から、「業務継続体制」について報告。
- ・銀行協会から、銀行とりひき相談所取扱状況と事例、当面の協会諸会議の日程等について報告。

(2) 出納交換部会【銀水会】（3月18日）

- ・日本銀行から、損傷通貨等引換日、令和3年度の印刷局封の払出額、銀行券及び貨幣の需給動向、500円硬貨の改鋳対応等について報告。
- ・銀行協会から、2月中の手形交換高、不渡状況、手形交換実施状況のほか、緊急事態宣言の解除に伴う京都手形交換所の対応、代行要員による交換所決済業務の訓練の実施等について報告。

(3) 業務部会（3月24日）

- ・「三井住友信託銀行の環境負荷低減に向けた取り組み」について情報交換。

II. 総務部関係

1. 当協会主催諸会合

- 京都府金融機関防犯連絡協議会幹事会を開催（3月30日）。

2. 外部諸会合

- (1) 京都文化交流コンベンションビューローの理事会に専務が出席（3月4日）。
- (2) 京都市建築物安心安全実施計画推進会議全体会議の開催に向けた説明会（Web会議）に業務部長が出席（3月5日）。

- (3) 京都府消費生活安全センターとの情報交換会に専務、事務局長が出席（3月9日）。
- (4) 京都府総合見本市会館理事会に専務が出席（3月12日）。
- (5) 京都高度技術研究所理事会に専務が出席（3月16日）。
- (6) 京都市国際交流協会理事会に専務が出席（3月18日）。
- (7) ITコンソーシアム京都委員会（Web会議）に専務が出席（3月22日）。
- (8) 京都府国際センター理事会に専務が出席（3月25日）。
- (9) 京都の未来を拓く次世代産業人材活躍プロジェクト推進協議会に業務部長が出席（3月26日）。
- (10) 四協会連絡会（名古屋銀行協会主催）に専務が出席（3月29日）。
- (11) 京都マラソン実行委員会に事務局長が出席（3月29日）。
- (12) 市民ふれあいステージ企画運営委員会の監査を実施（3月31日）。

3. 主な社員宛通知

- (1) 令和3年「経済センサス活動調査」実施の周知について（京都府からの依頼、3月18日）。
- (2) 警察署等からの刑事訴訟法第197条第2項による捜査関係事項照会について《3月中32件、今年度累計472件》。

Ⅲ. 交換部関係

1. 令和3年3月および令和2年度の手形交換取扱動向（4頁表1参照）
 - 令和3年3月の手形交換取扱高は、前年比で見ると、枚数ベースでは13.4%減、金額ベースでは21.0%減となった。また、令和2年度の累計枚数は944千枚、前年度比18.7%減、累計金額は19,510億円、同15.2%減となった。
 - 令和3年3月の取引停止処分者数は1名（前年と同数）、不渡報告掲載者数は1名（前年比3名減）となった。また、令和2年度の累計取引停止処分者数は3名（前年度比16名減）、同不渡報告掲載者数は12名（前年度比33名減）であった。
2. 新型インフルエンザ等対策特別措置法にもとづく緊急事態宣言の解除に伴う京都手形交換所の対応について、京都手形交換所加盟銀行母店宛に通知（3月3日）。
3. 令和3年新潟県糸魚川市における地滑りにかかる災害に対する手形交換に関する特別措置について、京都手形交換所参加銀行全店宛に通知（3月5日）。
4. 代行要員（会長行職員3名）による手形交換決済業務の訓練を実施（3月23日）。

5. 災害（①新潟県における令和2年12月16日からの大雪、②秋田県および他3県における令和3年1月7日からの大雪、③令和3年栃木県足利市における大規模火災）に対する手形交換に関する特別措置の終了時期について、京都手形交換所参加銀行全店宛に通知（3月25日）。

IV. 銀行とりひき相談所関係

- 令和3年3月および令和2年度の相談・苦情取扱動向（5頁表2参照）
- 令和3年3月の相談・苦情取扱件数は19件、前年比では9件の増加となった。このうち苦情の申出は4件であった。なお、相談・苦情取扱件数の令和2年度累計は157件で、前年度比28件の増加となった。

V. 銀行倶楽部関係

- 令和3年3月および令和2年度の銀行倶楽部利用状況（5頁表3参照）
- 令和3年3月の当会館利用人員は、220名（前年比4.9倍）、飲食関係売上高も419千円（同17.5倍）と、各々、新型コロナウイルス感染症の影響で大幅な落ち込みとなった前年を上回ったものの、依然として低水準にある。また、令和2年度中の当会館利用人員は1,836名（前年度比65.6%減）、飲食関係売上高も3,343千円（同65.1%減）と、各々大幅な落ち込みとなった前年度をさらに大きく下回った。

以 上

(表 1) 手形交換および不渡関係
(令和 3 年 3 月および令和 2 年度)

(▲は減少)

		令和 3 年 3 月		令和 2 年度	
			前年同月比		前年比
手形交換高	枚数	85 千枚	▲ 13.4 %	944 千枚	▲ 18.7 %
	金額	1,854 億円	▲ 21.0 %	19,510 億円	▲ 15.2 %
取引停止処分	人員	1 名	0.0 %	3 名	▲ 84.2 %
	枚数	1 枚	0.0 %	8 枚	▲ 77.1 %
	金額	0.06 百万円	▲ 88.0 %	8 百万円	▲ 80.4 %
不渡報告	人員	1 名	▲ 75.0 %	12 名	▲ 73.3 %
	枚数	1 枚	▲ 75.0 %	58 枚	▲ 40.2 %
	金額	0.06 百万円	▲ 97.0 %	90 百万円	▲ 20.8 %

(単位 名)

		業 種	3 月	2 年度	業 種	3 月	2 年度
取引停止処分者の業種別内訳	製造業		0	1	不動産業	0	0
	農林・漁業・水産業		0	0	運輸・通信業	0	0
	鉱業		0	0	サービス業	1	1
	建設業		0	0	その他(含、業種不明)	0	0
	卸売業		0	1	合 計	1	3
	小売業		0	0			

(表2) 銀行とりひき相談所取扱状況
(令和3年3月および令和2年度)

○ 銀行とりひき相談所取扱状況 (件)

項目	令和3年3月	前年同月	令和2年度	前年比
預金業務	5	3	33	▲5
貸出業務	2	0	23	12
内国為替業務	0	0	6	3
手形交換	1	0	6	5
外国為替業務	1	0	8	1
チャンネル業務	0	0	4	▲3
証券業務(窓販)	0	0	1	▲1
保険業務(窓販)	0	0	0	0
デリバティブ業務	0	0	0	0
その他の銀行業務	0	0	6	0
会員銀行	0	2	16	▲3
銀行協会	2	1	9	▲2
その他	4	4	26	14
相談小計	15	10	138	21
苦情	4	0	19	7
合計	19	10	157	28

(表3) 銀行倶楽部利用状況
(令和3年3月および令和2年度)

1. 利用人員 (名)

	午餐会	各部会	講演会・会食等	合計	前年同月比	前月比
令和3年3月	111	42	67	220	175	56
令和2年度	901	272	663	1,836	▲3,498	

2. 利用回数 (午餐会・各部会を除く、回)

	社員銀行	準社員銀行	その他	合計	前年同月比	前月比
令和3年3月	1	0	4	5	2	3
令和2年度	6	0	22	28	▲51	

3. 飲食関係売上高 (消費税・サービス料を除く、千円)

	宴会部門	午餐会・各部会	合計	前年同月比	前月比
令和3年3月	77	342	419	395	164
令和2年度	705	2,638	3,343	▲6,238	